

# 令和4年度春の特別ラン展の開催について

高井敦雄・泉川康博・島田有紀子・藤井智展・  
堀川大輔・田中宏昌・上野明楽

2023年2月18日（土）から2月26日（日）まで開催された「春の特別ラン展」の概要について報告する。

## テーマ、サブタイトル、展示概要

令和4年度の春の特別ラン展の展示テーマは、2023年5月に広島で先進七か国首脳会議（G7）が開催されることから「ランで彩るG7」となった。大温室内に8つのコーナーを設け、そのうち7コーナーをG7参加国コーナーとし、1コーナーを記念撮影コーナーとした。G7コーナーはその国をイメージさせる自然造形物や建造物、工作物の写真や置物を配するとともに各国の国旗を掲揚した。なお、広島サミット県民会議の「G7開催を応援する取組」として登録し、ポスター、チラシに広島サミット県民会議のロゴを掲載した。

日本のコーナーは広島サミットということで、装飾は安芸の宮島とし、大鳥居や牡蠣筏、首脳会議をイメージさせる円卓を配した。園内で調達した剪定枝を活用し、その枝に小型のピンク色のデンドロビウム ファンシーエンジェル‘リセ’を取り付け、開花した桜を表現した。この「桜」を大鳥居の周囲に配し、春の宮島を表現した。牡蠣筏はデンドロビウムやオンシジウムで装飾し、円卓の上は各国のミニ国旗と様々なランを置いて装飾した。正面池の手すり前ではピンクのデンファレのピック挿しで「HIROSHIMA」の文字を描くとともに、平和を象徴するハトの工作物を設置し、その下部をコチョウランやエピデンドラム等で装飾した（写真1）。

英国のコーナーはビッグベンの写真を大型プリンターで印刷し、大温室西口付近の天井から吊り下げた。その下部をシンビジウムやエピデンドラム、デンドロビウム等で装飾した（写真2）

カナダのコーナーは大温室奥の滝の場所にナイアガラ滝の写真の裏では、実際に滝を稼働させて水を落とすことで、水音を発生

させ、臨場感を演出した。

アメリカのコーナーでは、自由の女神の写真を大型プリンターで印刷し、ベンガルボダイジュの枝から吊り下げた。その下部をシンビジウムやオンシジウム、エピデンドラム等で装飾した（写真4）。

ドイツのコーナーではノイシュヴァンシュタイン城の写真を大型プリンターで印刷し、ソーセージノキ付近の天井から吊り下げた。ソーセージノキには果実が結実しており、それに加えてソーセージの模型も吊るした。その下方にはテーブルとイスを設置し、ドイツの代表的な飲食物のソーセージやビールに模した工作物をテーブルの上に置いた。その周りをシンビジウムやデンドロビウムで装飾した（写真5）。

イタリアのコーナーでは、ローマにある真実の口の工作物を設置し、実際に入園者に手を入れてもらい、「蘭みくじ」を引いてもらえるようにした。蘭みくじは、ランの属名や和名の最初の部分を取って、カト吉、シン吉、コチョ吉、オン吉、デン吉、パフィ吉とした。それぞれのランのおおよその単価からカト吉は1等、シン吉とコチョ吉は2等、オン吉、デン吉、パフィ吉は3等とした。それぞれのおみくじに異なる景品を提供した。思いのほか好評で、平日先着100名、土日祝は先着200名に景品を提供したが、おみくじだけでも引かしてほしいという要望があり、おみくじを急遽増産した。

真実の口の周囲はシンビジウムやデンドロビウムで装飾した（写真6）。

フランスのコーナーは大温室とスイレン温室の連絡口に設けることにした。フランスの代表的建造物である凱旋門の写真を貼り付けられるように単管を組み上げて骨格を作り、それにコンパネを設置した。その後、大型プリンターで分割印刷した凱旋門の写真を貼り付けた。凱旋門の内部には亀甲金網を設置し、そこに切花のオンシジウムやコチョウラン、デンファレ等を括り付けてアーチ状とし、その中を通り抜けられる仕様とした。凱旋門の下部はシンビジウムとデンドロビウムで装飾した（写真7）。

## 記念撮影コーナー

大温室北口にはランでハートを形作った記念撮影コーナーを設けることとした。まず、単管を南北2つに分けて組み上げ、そこにビールケー

スを設置し、展示棚として活用した。その棚を黒い不織布で覆い、そこにピンクのデンドロビウムを南北の展示棚に配置して一体的なハートを形作った。その周囲を黄色のオンシジウムで飾ることでピンクのハート形のデンドロビウムを際立たせた（写真8）。

この記念撮影コーナーは前述のように南北で2つに分かれていることから、東西方向の観賞用通路から通り抜け、あるいは立ち止まって記念撮影ができる構造となっている。ハートの記念撮影コーナーへ通じる東西の観賞用通路にはハート形のフレームを複数設置し、それにデンファレやモカラ等の切花をフレームに沿ってトンネル状に装飾した。

### 愛好団体等による展示

広島県・山口県のランの愛好5団体（広島洋蘭倶楽部、日本・蘭協会西中国支部、岩国蘭友会、徳山蘭友会、柳井オーキッド）に出品を依頼したところ、合わせて41名、計253点の出品があった。これらを対象として洋ラン品評会を実施し、グランプリ1点、準グランプリ2点、優秀賞と奨励賞各2点を含む計10点を選出し、出品者9名を表彰した。上位3点は1階の熱帯スイレン温室との連絡口付近に展示棚を設置し、展示した。その他の受賞作品はそれぞれの団体の展示棚で、受賞を示す札を添付して展示した。そのほか広島県花卉園芸農業協同組合洋ラン部会による66点からなる展示コーナーも設けた。

### テーマ展示

空中デッキと呼んでいるスロープでは、「青いらん」と題し、ラン科としては珍しい青い花を咲かせる株を7属、36種類展示した。目玉展示は、青いコチョウラン「ブルージーン」で、その珍しい色合いに来園者の注目を集めた。なお、テーマ展示については別稿で詳述する。

### 第40回広島県ラン展審査会

広島県ラン展審査会を昨年に引き続き、春の特別ラン展の共催事業として大温室ロビーで開催した。今回は、20点の出品があり、その中から広島県知事賞など4点を選出した。なお、春の特別ラン展最終日には、広島県知事賞などを含む全ての展示株を広島県花卉園芸農業協同組合洋ラン部会の責任のもとに販売した。

### 展示温室

愛好団体によるランの即売を行うとともに、来園者をメイン会場（大温室）から離れた展示温室に誘導する目的で、土日祝先着200名、平日同100名を対象に大温室各所に設けた蘭に関するクイズに答えてもらう「らんらんクイズラリー」を実施し、その参加者へ景品を渡すコーナーを設けた。このほか、来園者のランに関する相談を受け付ける「洋ランクリニック」も設け、主に購入時の相談に乗るとともに、ラン栽培の解説、実演を行う「洋ラン実演会」を会期初日を除く土日祝4日間開催した。

### その他関連イベント

新型コロナウイルスまん延防止等重点措置の解除に伴い、前述のクイズラリーや洋ランクリニック等の開催のほか、ランの花すくいやカレイドボタニカルフレーム作り講習会等全ての関連イベントを開催することができた。



写真1 日本コーナー



写真2 イギリスコーナー



写真3 カナダコーナー



写真4 アメリカコーナー



写真5 ドイツコーナー



写真6 イタリアコーナー



写真7 フランスコーナー



写真8 記念撮影コーナー